

平成 24 年度 P R T R データの概要

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下、「化管法」という。）に基づき、神奈川県内の事業者から届出があった平成 24 年度の化学物質の排出量・移動量及び国が推計した化学物質の排出量を取りまとめましたので、お知らせします。

※ この資料で記載している排出量等の集計値やその割合を表す数値については、表示単位未満を四捨五入により端数処理しております。なお、端数処理のため、合計欄の数値が各数値を合計した数値と異なる場合があります。

※ 排出量とは、事業所において環境中に排出される化学物質の量、移動量とは、廃棄物として処理するために事業所の外へ移動させた化学物質の量をいいます。

1 概要（別紙 1 参照）

- ① 届出事業所数は 1,449 事業所で、前年度より 14 事業所減少しました。
- ② 届出排出量・移動量は 17,230 トンで、前年度より 1,491 トン減少しました。
- ③ 届出排出量は 6,118 トンで、前年度より 1,346 トン減少しました。
- ④ 届出移動量は 11,112 トンで、前年度より 146 トン減少しました。
- ⑤ 国が推計した届出外排出量は 10,449 トンで、前年度より 123 トン減少しました。
- ⑥ 全排出量は 16,567 トンで、前年度より 1,468 トン減少しました。
- ⑦ 全排出量は全国第 6 位でした。

表 1 排出量等の状況

（届出事業所数以外は、トン／年）

	神奈川県			全国		
	平成23年度	平成24年度	増減	平成23年度	平成24年度	増減
届出事業所数	1,463	1,449	△ 14	36,638	36,504	△ 134
届出排出量・移動量	18,721	17,230	△ 1,491	398,870	381,368	△ 17,502
届出排出量	7,464	6,118	△ 1,346	173,843	162,239	△ 11,604
届出移動量	11,258	11,112	△ 146	225,027	219,128	△ 5,899
届出外排出量	10,572	10,449	△ 123	254,706	243,578	△ 11,128
全排出量	18,035	16,567	△ 1,468	428,549	405,817	△ 22,732

表 2 全排出量順位上位 10 都道府県

（トン／年）

順位	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
都道府県名	愛知県	東京都	埼玉県	千葉県	静岡県	神奈川県	茨城県	北海道	大阪府	広島県
全排出量	24,321	18,534	17,360	17,054	16,788	16,567	15,837	15,639	15,178	14,936

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成25年度には、平成24年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、県内で1,449事業所から届出がありました。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
食料品製造業	12	13	精密機械器具製造業	2	5
飲料・たばこ・飼料製造業	3	4	医療用機械器具・医療用品製造業	3	3
酒類製造業	1	1	その他の製造業	4	4
衣服・その他の繊維製品製造業	1	3	電気業	9	11
家具・装備品製造業	2	5	ガス業	1	1
パルプ・紙・紙加工品製造業	12	7	下水道業	40	32
出版・印刷・同関連産業	12	14	鉄道業	1	1
化学工業	137	189	倉庫業	9	19
医薬品製造業	12	17	石油卸売業	19	8
農薬製造業	2	6	鉄スクラップ卸売業	1	1
石油製品・石炭製品製造業	25	45	燃料小売業	622	9
プラスチック製品製造業	39	54	洗濯業	12	5
ゴム製品製造業	9	48	自動車整備業	18	6
窯業・土石製品製造業	17	21	機械修理業	3	4
鉄鋼業	11	26	商品検査業	1	3
非鉄金属製造業	24	36	計量証明業	4	3
金属製品製造業	80	32	一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る。）	47	35
一般機械器具製造業	48	30	産業廃棄物処分業	21	35
電気機械器具製造業	54	36	医療業	4	3
電子応用装置製造業	1	1	高等教育機関	9	10
輸送用機械器具製造業	73	40	自然科学研究所	31	17
鉄道車両・同部分品製造業	5	5	合計	1,449	229
船舶製造・修理業、船用機関製造業	8	14			

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	438	逗子市	2	綾瀬市	32	開成町	6
川崎市	196	三浦市	9	葉山町	5	箱根町	11
相模原市	113	秦野市	46	寒川町	23	真鶴町	—
横須賀市	59	厚木市	68	大磯町	5	湯河原町	2
平塚市	84	大和市	45	二宮町	1	愛川町	26
鎌倉市	24	伊勢原市	32	中井町	5	清川村	1
藤沢市	66	海老名市	23	大井町	8	合計	1,449
小田原市	49	座間市	22	松田町	1		
茅ヶ崎市	26	南足柄市	14	山北町	7		

※ 真鶴町では届出がありませんでした。

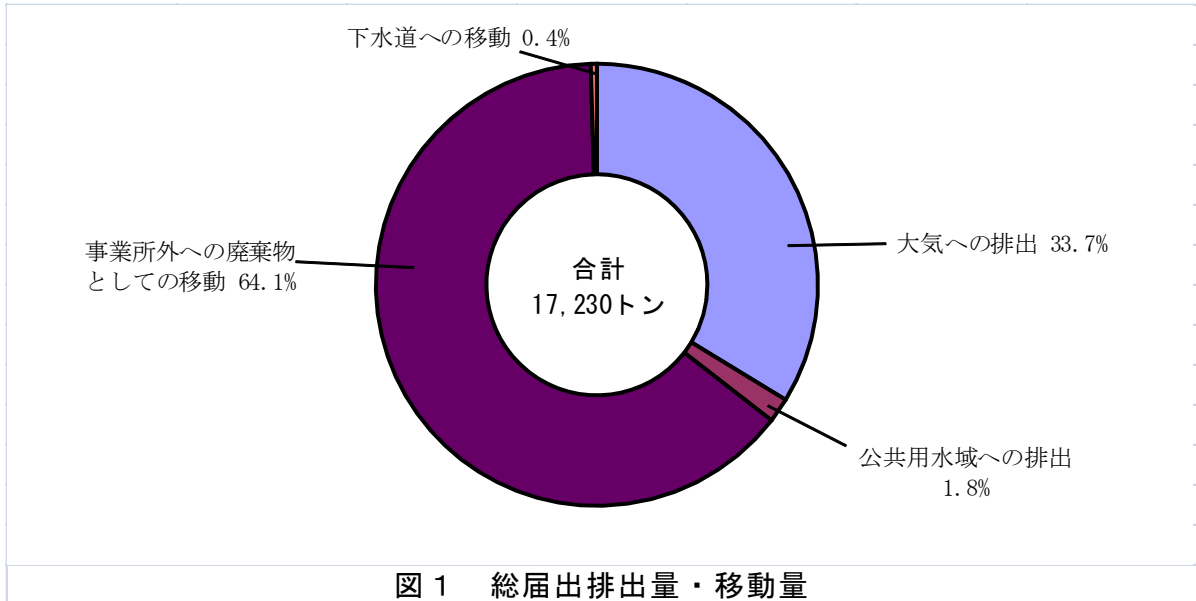
(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった排出量・移動量全体は、総届出排出量・移動量 17,230 トンであり、その内訳は、総届出排出量 6,118 トン、総届出移動量 11,112 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 5,808 トン、公共用水域への排出 311 トン、土壌への排出及び事業所内での埋立処分はありませんでした。

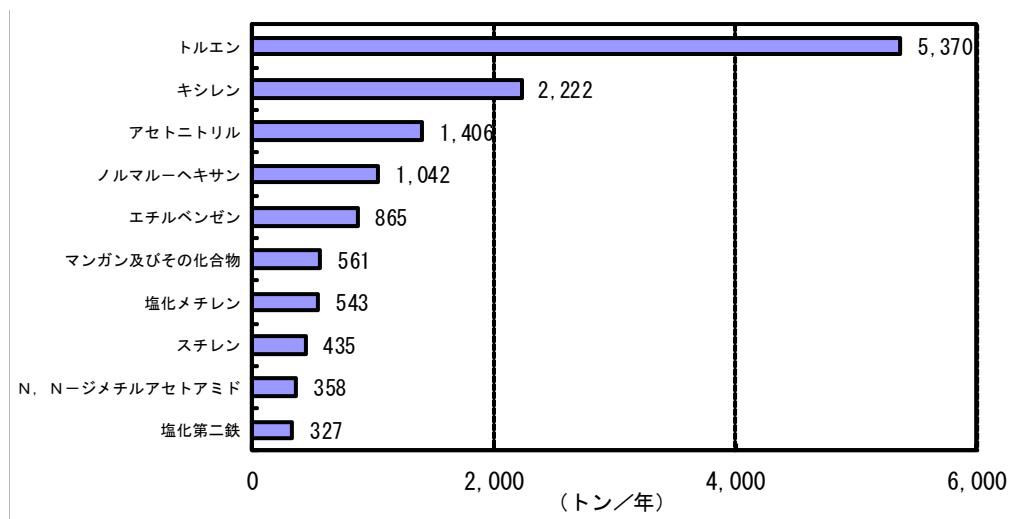
また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 11,036 トン、下水道への移動 76 トンでした。



イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の多い上位10物質の合計は13,128 トンで、総届出排出量・移動量 17,230 トンの76.2%に当たります。

上位10物質は次のとおりです。



ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,459 トンで、総届出排出量 6,118 トンの 89.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

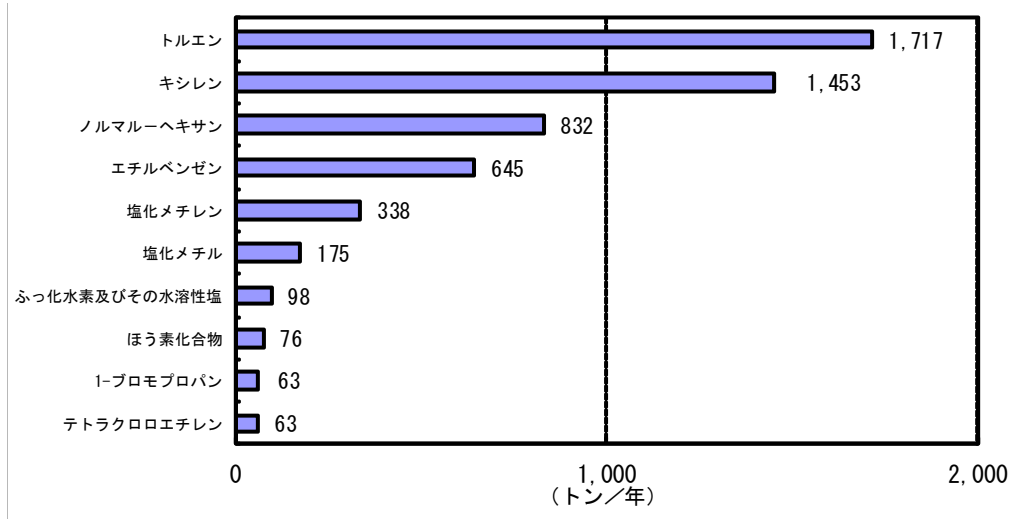


図 3 届出排出量上位 10 物質

エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,255 トンで、総届出移動量 11,112 トンの 74.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

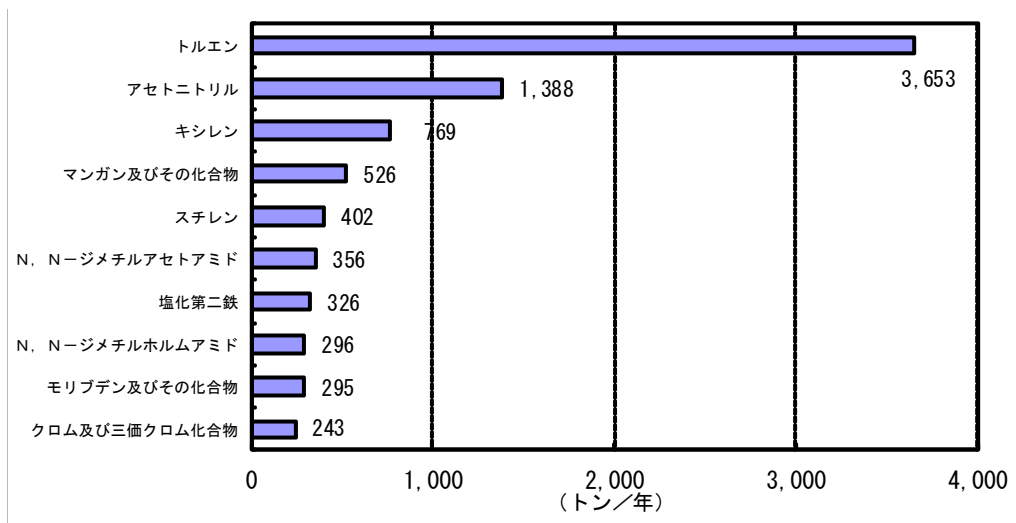


図 4 届出移動量上位 10 物質

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(7) 大気への排出状況

大気への排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,381 トンで、大気への排出量全体 5,808 トンの 92.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

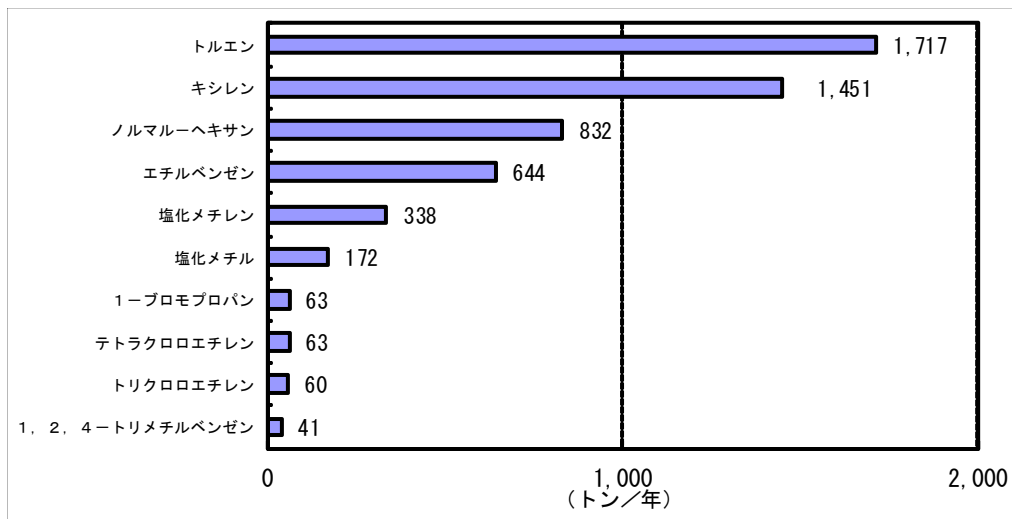


図 5 大気への排出量上位 10 物質

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質の合計は 294 トンで、公共用水域への排出量全体 311 トンの 94.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

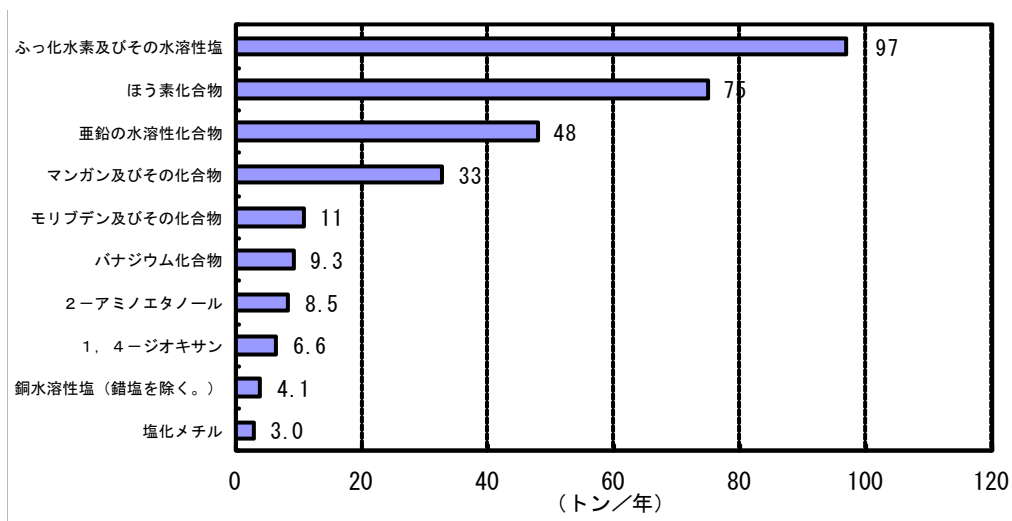


図 6 公共用水域への排出量上位 10 物質

(ウ) 土壌への排出状況

平成 24 年度は、土壌への排出を行ったという届出はありませんでした。

(イ) 事業所における埋立処分の状況

平成 24 年度は、事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,203 トンで、廃棄物としての移動量全体 11,036 トンの 74.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

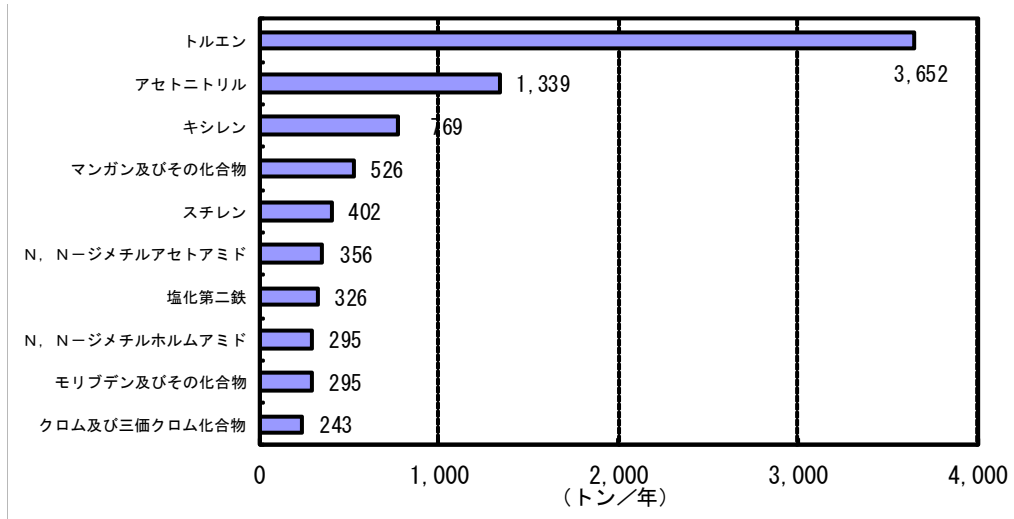


図 7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の多い上位 10 物質の合計は 70 トンで、下水道への移動量全体 76 トンの 92.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

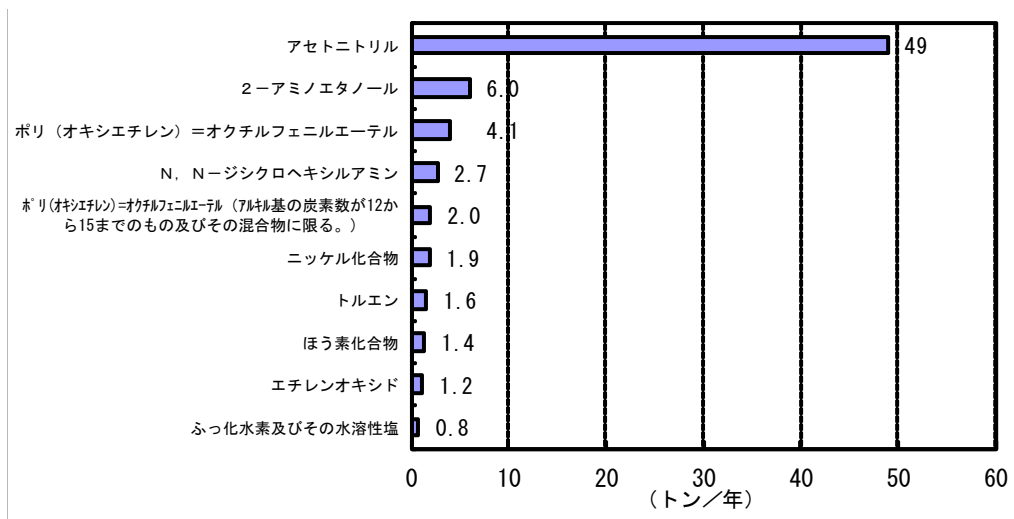


図 8 下水道への移動量上位 10 物質

キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

(7) 届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 15,135 トンで、総届出排出量・移動量 17,230 トンの 87.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

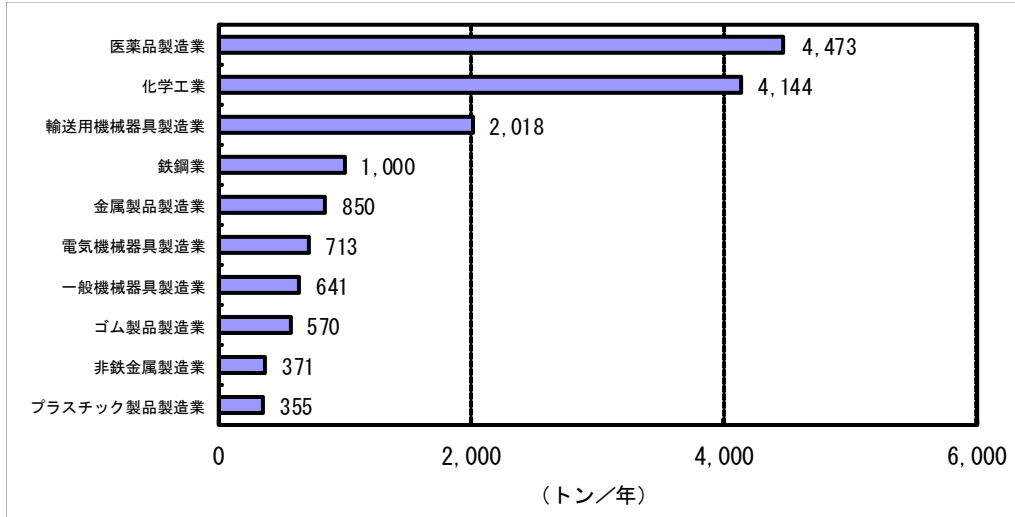


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量

届出排出量の多い上位 10 業種の合計は 5,308 トンで、総届出排出量 6,118 トンの 86.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

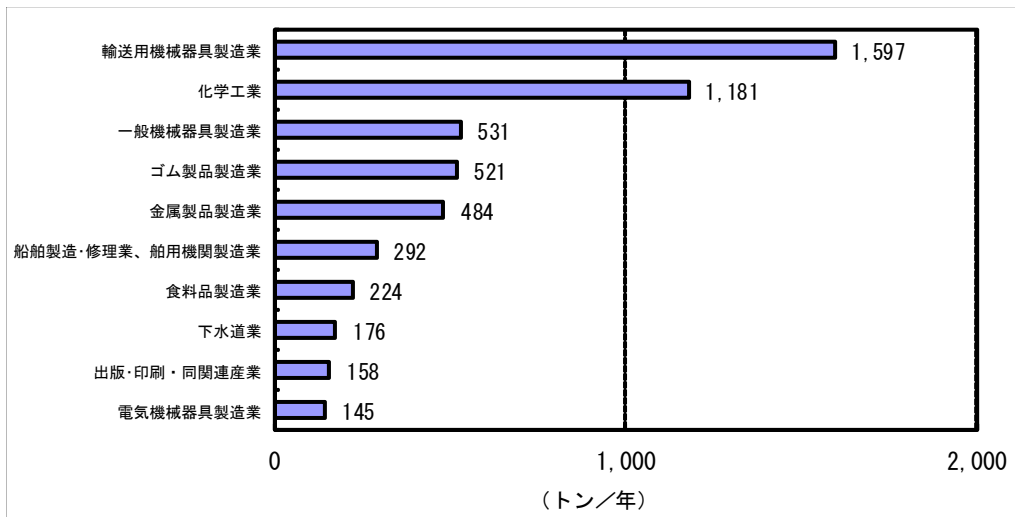


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

届出移動量の多い上位 10 業種の合計は 10,471 トンで、総届出移動量 11,112 トンの 94.2%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

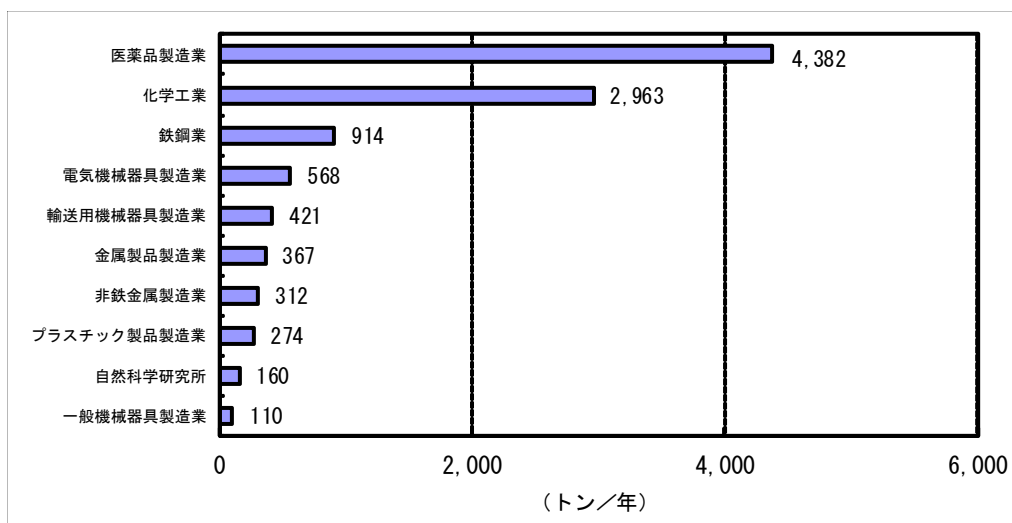


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	24,900	0	24,900	24,900
エチレンオキシド	15,304	0	0	0	15,304	370	1,200	1,570	16,874
カドミウム及びその化合物	0	10	0	0	10	30	0	30	40
六価クロム化合物	2	28	0	0	29	33,169	101	33,270	33,299
塩化ビニル	12,000	28	0	0	12,028	0	0	0	12,028
鉛化合物	53	787	0	0	840	32,332	1	32,333	33,173
ニッケル化合物	165	1,476	0	0	1,642	85,083	1,906	86,989	88,630
砒素及びその無機化合物	6	152	0	0	158	4,580	0	4,580	4,738
1,3-ブタジエン	22,260	360	0	0	22,620	570	0	570	23,190
2-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	33,926	221	0	0	34,147	2,810	0	2,810	36,957
ホルムアルデヒド	14,164	345	0	0	14,509	69,364	121	69,484	83,993
ダイオキシン類	7,330	106	0	1,580	9,017	95,619	440	96,059	105,076
合計	97,880	3,406	0	0	101,287	253,208	3,328	256,536	357,823

3 届出外排出量の状況（別紙4参照）

(1) 全物質の届出外排出量

国が推計を行った平成24年度の県内の届出外排出量の合計は10,449トンであり、その内訳は、対象業種からの届出外排出量2,253トン、非対象業種からの届出外排出量3,744トン、家庭からの届出外排出量1,802トン、移動体からの届出外排出量2,650トンでした。

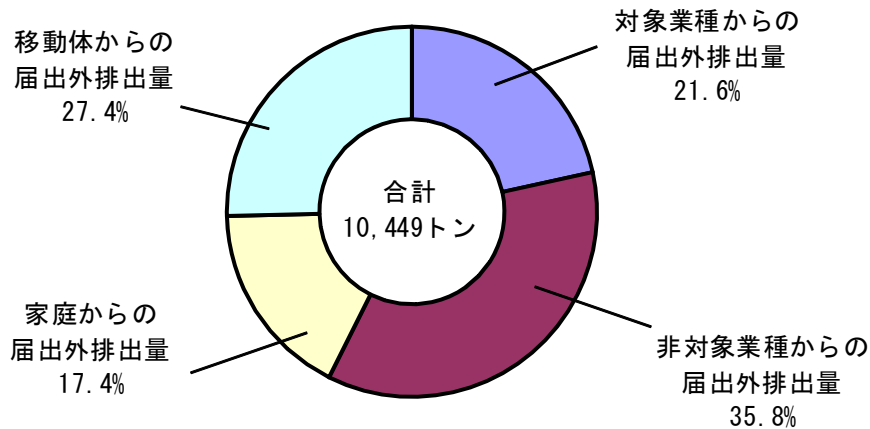


図12 届出外排出量

(2) 届出外排出量の状況

届出外排出量の多い上位10物質の合計は8,532トンで、届出外排出量全体10,449トンの81.7%に当たります。

上位10物質は次のとおりです。

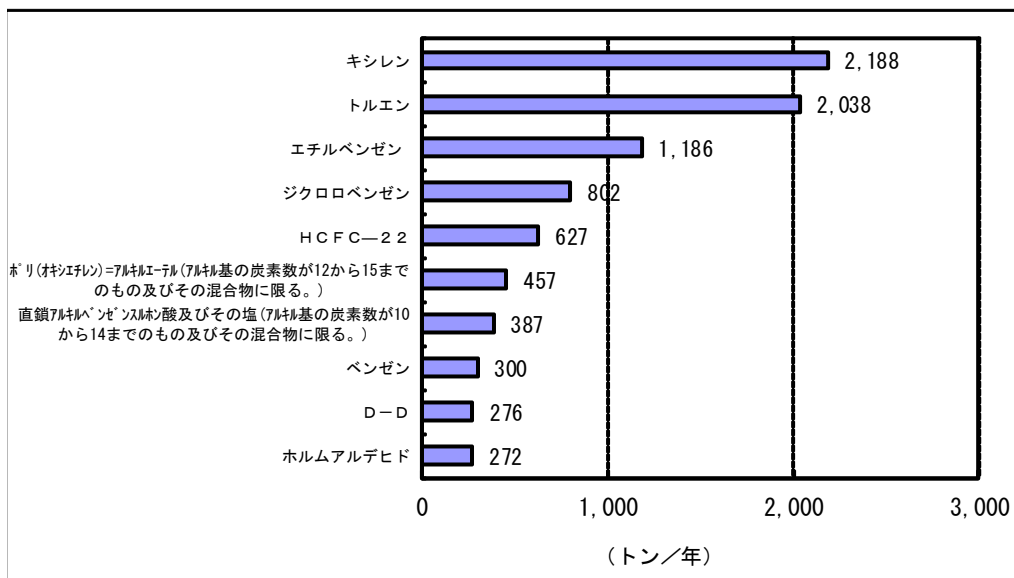


図13 届出外排出量上位10物質

(3) 対象業種からの届出外排出量の状況

対象業種からの届出外排出量の多い上位 10 物質の合計は 1,712 トンで、対象業種からの届出外排出量全体 2,253 トンの 76.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

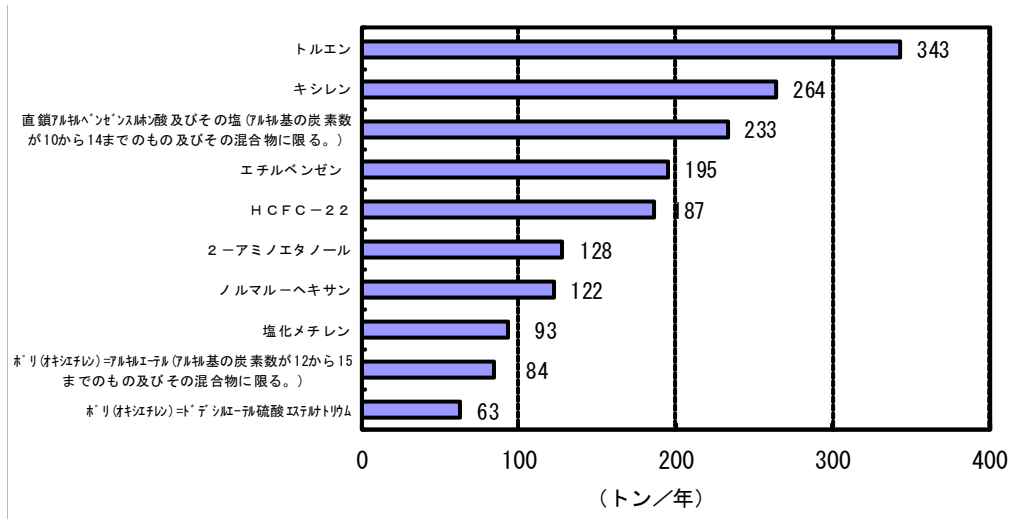


図 14 対象業種からの届出外排出量上位 10 物質

(4) 非対象業種からの届出外排出量の状況

非対象業種からの届出外排出量の多い上位 10 物質の合計は 3,531 トンで、非対象業種からの届出外排出量全体 3,744 トンの 94.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

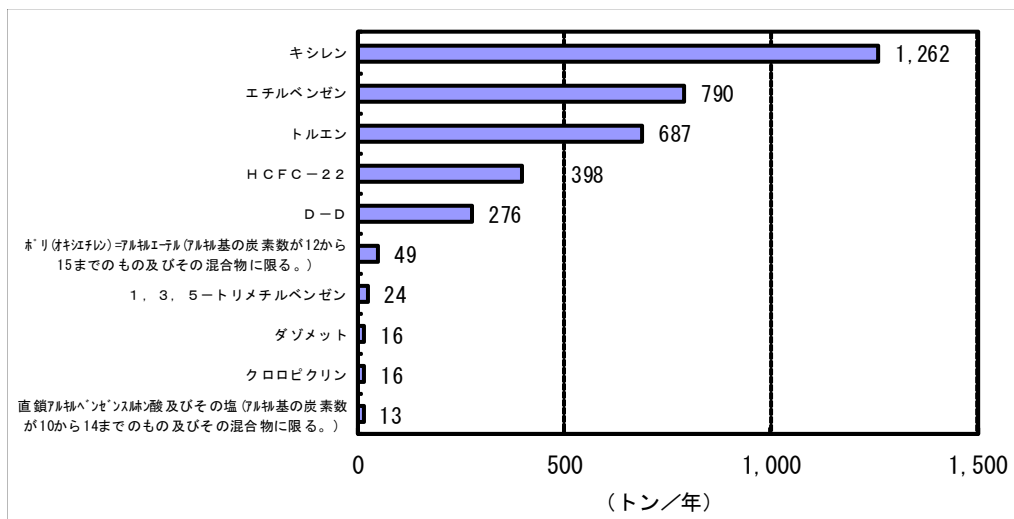


図 15 非対象業種からの届出外排出量上位 10 物質

(5) 家庭からの届出外排出量の状況

家庭からの届出外排出量の多い上位 10 物質の合計は 1,576 トンで、家庭からの届出外排出量全体 1,802 トンの 87.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

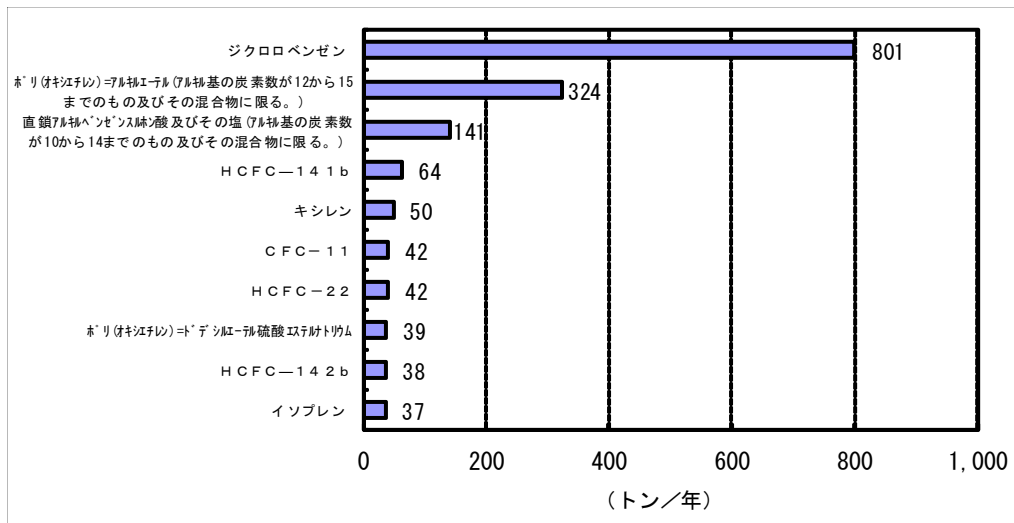


図 1 6 家庭からの届出外排出量上位 10 物質

(6) 移動体からの届出外排出量の状況

移動体からの届出外排出量の多い上位 10 物質の合計は 2,596 トンで、移動体からの届出外排出量全体 2,650 トンの 98.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

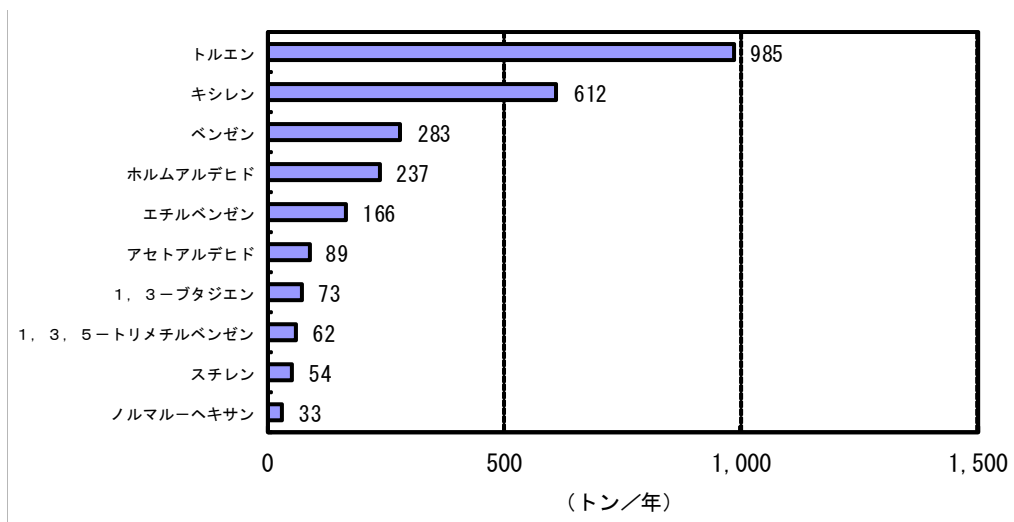


図 1 7 移動体からの届出外排出量上位 10 物質

また、移動体の種類別排出量は次のとおりです。

表 6 移動体の種類別排出量

(トン/年)						
自動車	二輪車	特殊自動車	船舶	鉄道車両	航空機	合計
1,981	277	233	159	0.16	0	2,650

(7) 届出排出量と届出外排出量の合計の状況

届出排出量と届出外排出量の合計の多い上位 10 物質の合計は 13,279 トンで、全排出量 16,567 トンの 80.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです

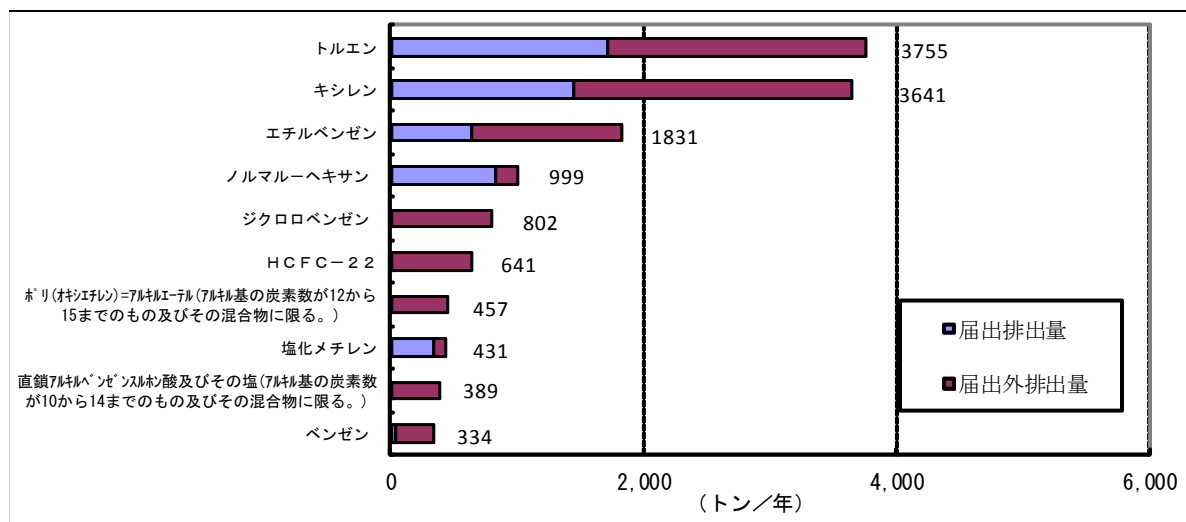


図 18 全排出量上位 10 物質

4 届出排出量及び移動量の推移

事業者から届出のあった排出量・移動量の推移については次のとおりです。

表 7 届出排出量・移動量の推移

(トン/年)

		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
届出排出量	大気への排出	10,746	11,716	11,083	10,561	9,637	9,359	7,850	6,078	7,378	7,136	5,808
	公共用水域への排出	408	395	396	356	342	341	329	302	325	327	311
	土壌への排出	0.002	0.001	0	0	0	0	0	0.002	0.004	0.001	0
	事業所内での埋立処分	534	535	732	213	0	0	0	0	0	0	0
	小計	11,687	12,646	12,211	11,129	9,979	9,700	8,179	6,379	7,704	7,464	6,118
届出移動量	事業所外への廃棄物としての移動	10,681	11,660	12,415	13,957	14,321	13,719	11,312	9,787	8,168	11,166	11,036
	下水道への移動	107	114	93	97	100	106	78	72	69	91	76
	小計	10,788	11,775	12,508	14,054	14,420	13,825	11,390	9,860	8,237	11,258	11,112
合計	22,475	24,421	24,719	25,183	24,400	23,524	19,569	16,239	15,941	18,721	17,230	

※1 この表の平成 14~22 年度までのデータについては、公表後に変更された届出事項を反映したものを用いています。

※2 平成14年度届出分については、届出事業所の対象化学物質の取扱量要件が 5 トンでした。
(平成15年度届出分から取扱量要件が 1 トンに引き下げられました。)